

団地屋外空間の温熱環境改善効果
—都内の賃貸住宅3団地について—

独立行政法人都市再生機構
技術研究所技術研究チーム
渡辺 直

キーワード

①団地	②温熱環境	③冷気生成
-----	-------	-------

(梗概)

集合住宅団地の多くは、市街地の中にあっても、一定規模以上の敷地に住棟がゆとりをもって配置され、大小様々なオープンスペースと豊富な緑地を有している。これら団地が有する屋外空間については、周辺市街地と比較して夏季の気温低減上の優位な効果や、夜間の放射冷却現象による冷気層の形成が一部の団地において確認されているところである。

以上を踏まえて、本稿では、東京都内の公的賃貸住宅3団地（赤羽台、北砂五丁目、サンヴァリエ桜堤）を対象に、団地屋外空間の温熱環境改善効果の把握を目的に実施した、通年実測の結果を報告する。

実測結果からは、夏季夜間における団地内の気温分布を通じて、団地内は周辺に比べて常に冷涼であり、また冷気が周辺市街地へとにじみ出している様子を確認した。この冷気は団地内のオープンスペースで生成され、晴天・静穏時には冷気層を形成していた。

団地屋外空間の温熱環境改善効果は、潜在的かつ有効な環境負荷低減ツールであると共に、周辺市街地に対する環境貢献の側面も明らかとなった。